

パレットの不正使用の抑制に向けた位置情報取得の仕組み導入について

2025年6月2日

一般社団法人Pパレ共同使用会

アサヒビール株式会社

キリンビール株式会社

サッポロビール株式会社

サントリー株式会社

一般社団法人Pパレ共同使用会(代表理事:小野里俊哉、以下Pパレ共同使用会)及び、アサヒビール株式会社(代表取締役社長:松山 一雄)、キリンビール株式会社(代表取締役社長:堀口 英樹)、サッポロビール株式会社(代表取締役社長:時松 浩)、サントリー株式会社(代表取締役社長:鳥井 信宏)は5者で協働して、プラスチックパレット(Pパレ)の流出ならびに不正使用の防止に向け、使用する一部のPパレにトラッカー(Pパレの動きをトラッキングする装置)を装着し、位置情報取得を行っていくこととなりましたのでお知らせします。

トラックドライバーの労働時間の上限を厳格化する法規制の影響、いわゆる物流 2024 年問題への対応に向け、ドライバーに大きな負荷をかける付帯作業や、荷待ち時間の削減が課題となっています。この解決策として、商品を運搬する際の資材であるパレットの導入と、サプライチェーン上のプレーヤーがこれを一貫使用すること(一貫パレチゼーション)が国主導のもと進められていますが、流出や紛失、所有権者以外の事業者・個人による本来の用途外での使用、違法販売などが大きな問題となっています。

Pパレ共同使用会においては、ビール4社による共同回収体制を拡大するとともに、低回収率の届先に対して管理強化と改善の依頼活動や、業界紙への不正使用防止に向けた啓発広告の掲載のほか、不正使用業者に対し、使用の中止と返却交渉を行っています。また、悪質な事業者に対しては法的対応や求償などの対応強化も図っています。

Pパレは、これを購入した共同使用会加盟各社に所有権があり、これを加盟社製品の輸送・保管以外の目的で使用する場合は、入手手段のいかんを問わず、不正使用、所有者の権利侵害にあたりるとともに、製品の製造・出荷へ悪影響を及ぼします。また、トラックドライバーやお得意先様の保管・作業負荷の増大を招き、コストの増大など、消費者の不利益を助長することに繋がります。

そのため、Pパレ共同使用会と、加盟社であるビール4社が協働し、不正使用防止策として、Pパレの位置情報取得を行うための機器であるトラッカーを一部のパレットに装着し、Pパレの流通・流出構造の可視化ならびに、不正使用業者の特定化を図り、不正使用の中止と返却要請活動を強化していきます。

今後も厳しい物流環境が続くと予想されるなか、物流の持続性の維持と製品供給責任を果たすべく、食品流通の基盤であるパレットの不正使用の撲滅に向けた活動を推進します。

以上

【参考資料】

トラッカー

Pパレにトラッキングデバイスを内蔵します



トラッキングイメージ

Pパレの位置情報を把握、流出拠点及び不正使用先を特定可能
(システム開発:京セラコミュニケーションシステム株式会社様)



パレットの出荷回収と不正使用発見イメージ

